

鉱物模型クラフト

琵琶湖博物館

【つくり方】

これは、^{こうぶつ} 鉱物の^{きほんてき} 基本的な^{かたち} 形のいくつかの^{もけい} 模型を、^{かみ} 紙で^{つく} 作ろうとするものです。
^{いんさつ} 印刷して、^き 切り^と 取って^く 組み^た 立ててください。^{かみ} 紙は^{あつ} やや^よ 厚いもののほうが^よ 良いでしょう。
^{ひつよう} 必要なものは、^{いんさつ} 印刷した^{かみ} 紙、^{はさみ} はさみ（または^{かッター} カッター）、^{テープ} テープ

1. ^{じっせん} 実線をはさみで切る
2. ^{てんせん} 点線にそって^{てんせん} おる。点線は、^{ぜんぶ} 全部を^{やま} 山おりに^{たに} するか、^{たに} 谷おりに^{たに} するかです。
^{かんせい} 完成した時に^{とき} 点線を^{てんせん} みせないように^{たに} するならば^{たに} 谷おりが^よ よいです。
3. ^{かど} かどを^あ あわせるように^く して、^く 組み^た 立てて^{テープ} テープで^と ためる
^{おな} 同じ^{ばんごう} 番号の^{かど} 角（^{せん} 線）を^あ あわせるように^く 組み^た 立ててください。^あ あわせる^{ばしょ} 場所の^{すべ} 全てに^{ばんごう} 番号
^は はつけて^{ばんごう} いませんので、^{ばんごう} 番号は^く 組み^た 立てる^{おも} ヒントだと思^{おも} ってください。

【出来上がりのイメージ】

^{ばんごう} 番号の1は^{せいはちめんたい} 正八面体、^{せいりくめんたい} 2は^{せいりくめんたい} 正六面体（^{さいごころのかたち} さいころの形）、^{ひしがた} 4は^{ろくめんたい} 菱形の六面体、^{せいじゅうにめんたい} 5は^{せいじゅうにめんたい} 正十二面体で
^{すいしょう} す。3と6は^{すいしょう} どちらも^{かたち} 水晶の形です。

^{すいしょう} 水晶は^{さき} 先が^{ろっかくちゅう} とがった六角柱だというイメージがありますが、^{さき} クラフトでは^{さき} 先は^{さき} とがって^{さき} いません。
^{ちが} 3と6の^{ちが} 違いは、^{めん} 6のほうが^{めん} 面の^{おお} 大きさが^{てん} バラバラ^{かたち} になっている^{びわこ} 点です。6の形は、^{はくぶつかん} 琵琶湖博物館にある^{じっさい} 実際の^{すいしょう} 水晶を^{はくぶつかん} モデルに^{はくぶつかん} しています。

【解説】

^{かわら} 河原におちている^{がんせき} 岩石の^{おほ} 多くは、^{なんしゆるい} 何種類かの^{ちい} より^{つぶ} 小さな^{こうぶつ} 粒（^{あつ} 鉱物）が^{あつ} 集まって^{あつ} できて^{あつ} います。
^{こうぶつ} それらの^{ちい} 鉱物は、^{ちい} とても^{ちい} 小さ^{ちい} かったり、^{ちい} それほど^{ちい} きれいには^{ちい} 見え^{ちい} ないので、^{ちい} 注目を^{ちい} 集める^{ちい} ことは
^{ちい} ない^{ちい} かもしれ^{ちい} ません。しかし、^{ちい} 鉱物は^{ちい} 種類^{ちい} によって^{ちい} 理想的な^{ちい} 形^{ちい} という^{ちい} ものが^{ちい} あり、^{ちい} その^{ちい} 形^{ちい} になっ
^{ちい} ている^{ちい} 鉱物は^{ちい} 人気^{ちい} がある^{ちい} ようです。その^{ちい} よく^{ちい} 知ら^{ちい} れた^{ちい} 鉱物^{ちい} の一つに^{ちい} 水晶^{ちい} があります。^{ちい} 水晶^{ちい} は^{ちい} 鉱物
^{ちい} の^{ちい} 名前^{ちい} ではなく、^{ちい} 鉱物^{ちい} の^{ちい} 名前^{ちい} としては^{ちい} 石英^{ちい} といいます。^{ちい} 石英^{ちい} は、^{ちい} 花^{ちい} こう^{ちい} 岩^{ちい} を^{ちい} つくる^{ちい} 重要^{ちい} な^{ちい} 鉱物^{ちい} の
^{ちい} 一つで、^{ちい} 花^{ちい} こう^{ちい} 岩^{ちい} の^{ちい} 中^{ちい} では^{ちい} バラ^{ちい} バラ^{ちい} の^{ちい} 形^{ちい} を^{ちい} して^{ちい} います。^{ちい} 石英^{ちい} が^{ちい} 特別^{ちい} な^{ちい} 場所^{ちい} で、^{ちい} 理想的^{ちい} な^{ちい} 形^{ちい} になっ
^{ちい} た^{ちい} ときに^{ちい} 水晶^{ちい} と^{ちい} よば^{ちい} れます。ただし、^{ちい} 鉱物^{ちい} によ^{ちい} って^{ちい} は^{ちい} その^{ちい} 理想的^{ちい} な^{ちい} 形^{ちい} は、^{ちい} 数^{ちい} 種類^{ちい} ある^{ちい} 場合^{ちい} が^{ちい} あり
^{ちい} ます。たと^{ちい} えば、^{ちい} ホタル^{ちい} 石^{ちい} や^{ちい} 黄^{ちい} 鉄^{ちい} 鉱^{ちい} など^{ちい} が^{ちい} その^{ちい} 例^{ちい} で、^{ちい} この^{ちい} 鉱物^{ちい} 模型^{ちい} クラフト^{ちい} でも^{ちい} 取り^{ちい} 上げ^{ちい} て^{ちい} いま
^{ちい} す。

^{じっさい} 実際に^{もけい} 模型^{かんさつ} を^{かんさつ} つく^{かんさつ} って^{かんさつ} 観^{かんさつ} 察^{かんさつ} して^{かんさつ} みて^{かんさつ} ください。^{しょうかい} ここで^{こうぶつ} 紹介^{しがけん} した^{しがけん} 鉱物^{しがけん} は、^{しがけん} どれも^{しがけん} 滋^{しがけん} 賀^{しがけん} 県^{しがけん} で^{しがけん} み^{しがけん} つ^{しがけん} かる^{しがけん} も^{しがけん} の^{しがけん} ず^{しがけん} です。

^{こうぶつ} 鉱物^{きそく} は^{ただ} とても^{かたち} 規則^{すいしょう} 正しい^{れい} 形^{ちが} を^{かたち} して^{かたち} います。たと^{すいしょう} えば、^{れい} 水晶^{ちが} を^{かたち} 例^{かたち} に^{かたち} すると、^{ちが} ま^{かたち} った^{かたち} く^{かたち} 違^{かたち} う^{かたち} 形^{かたち} を^{かたち} し
^{かたち} ている^{かたち} よう^{かたち} に^{かたち} 見え^{かたち} ても、^{かたち} 隣^{かたち} り^{かたち} あ^{かたち} った^{かたち} 面^{かたち} は^{かたち} 必ず^{かたち} 規則^{かたち} 正しい^{かたち} 角^{かたち} 度^{かたち} にな^{かたち} っ^{かたち} ています。^{かたち} これは、^{かたち} や^{かたち} や^{かたち} む^{かたち} つ
^{かたち} かしい^{かたち} 話^{かたち} にな^{かたち} り^{かたち} ますが、^{かたち} 鉱物^{かたち} が^{かたち} 結^{かたち} 晶^{かたち} である^{かたち} こと^{かたち} と^{かたち} 関係^{かたち} して^{かたち} います。^{かたち} 鉱物^{かたち} は、^{かたち} それ^{かたち} を^{かたち} つ^{かたち} く^{かたち} っ^{かたち} ている
^{かたち} 原子^{かたち} が^{かたち} 規則^{かたち} 正^{かたち} しく^{かたち} 並^{かたち} ん^{かたち} で^{かたち} 組^{かたち} み^{かたち} あ^{かたち} わ^{かたち} さ^{かたち} っ^{かたち} て^{かたち} きて^{かたち} います（^{かたち} つ^{かたち} ま^{かたち} り^{かたち} 結^{かたち} 晶^{かたち} の^{かたち} 状^{かたち} 態^{かたち} ）。^{かたち} 鉱物^{かたち} の^{かたち} 種^{かたち} 類^{かたち} は、^{かたち} 鉱
^{かたち} 物^{かたち} を^{かたち} つ^{かたち} くる^{かたち} 原子^{かたち} の^{かたち} 種^{かたち} 類^{かたち} でも^{かたち} 分^{かたち} け^{かたち} ら^{かたち} れ^{かたち} ます^{かたち} が、^{かたち} 原子^{かたち} の^{かたち} 並^{かたち} び^{かたち} 方^{かたち} でも^{かたち} 違^{かたち} う^{かたち} 鉱物^{かたち} にな^{かたち} り^{かたち} ます。^{かたち} 鉱物^{かたち} の^{かたち} でき
^{かたち} 方^{かたち} に^{かたち} 興^{かたち} 味^{かたち} が^{かたち} ある^{かたち} 人は、^{かたち} 鉱物^{かたち} の^{かたち} 本^{かたち} で^{かたち} 調^{かたち} べ^{かたち} て^{かたち} みて^{かたち} ください。

鉱物模型クラフト

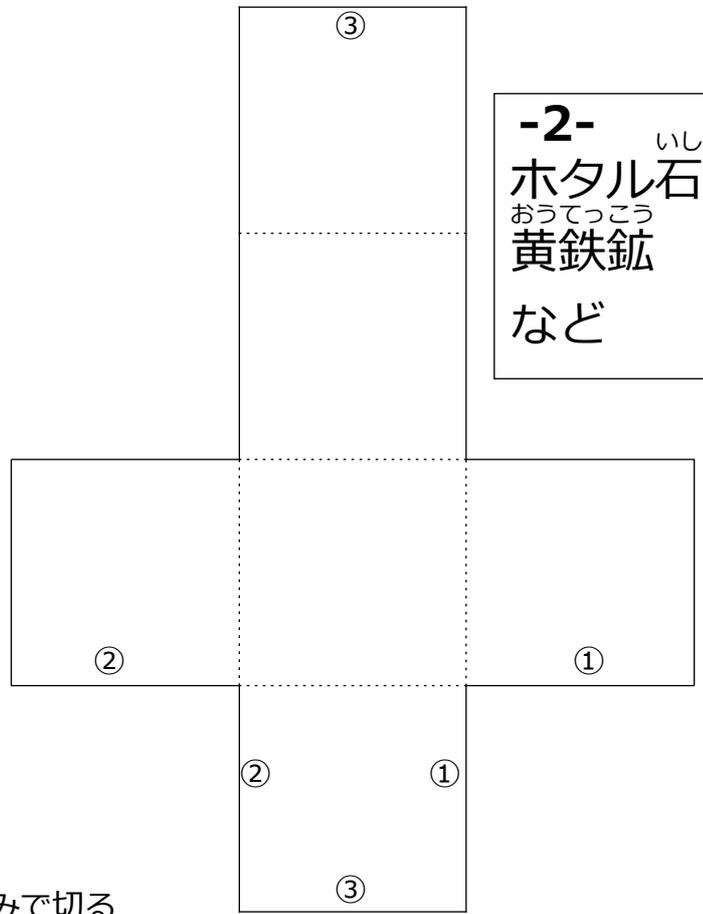
琵琶湖博物館

-1-

いし
ホタル石
黄鉄鉱
磁鉄鉱
など



-2-
いし
ホタル石
おうてっこう
黄鉄鉱
など

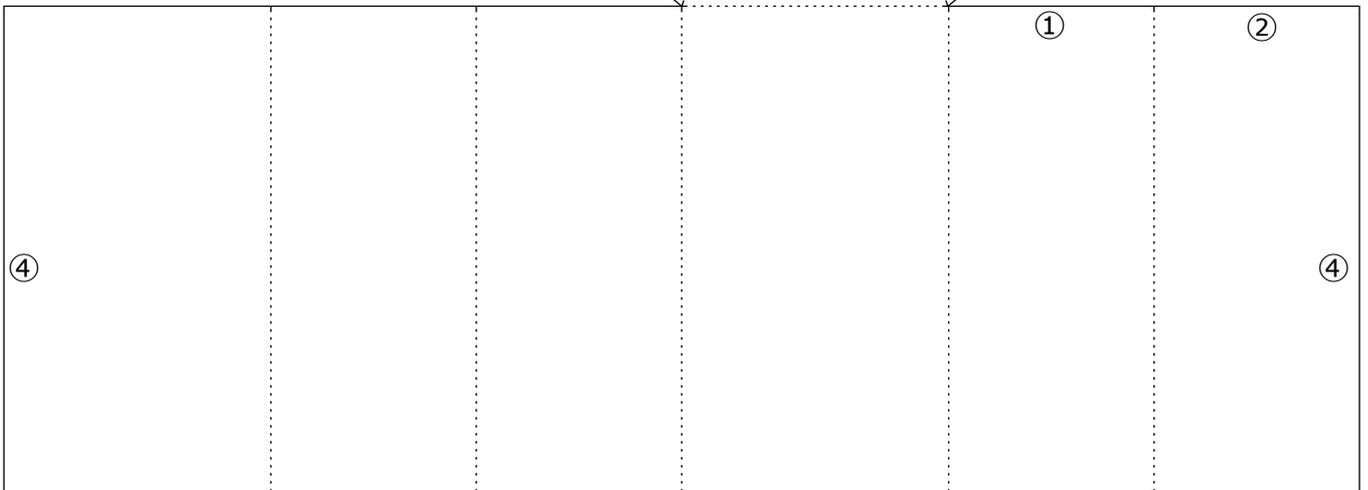


つくりかた

1. 実線をはさみで切る
2. 点線にそっておる
(全部山おり、完成した時に点線
をみせないようにするなら谷おり)
3. かどをあわせるようにして、
組み立ててテープでとめる
(同じ番号を合わせる)

-3-

すいしょう (せきえい)
水晶 (石英)

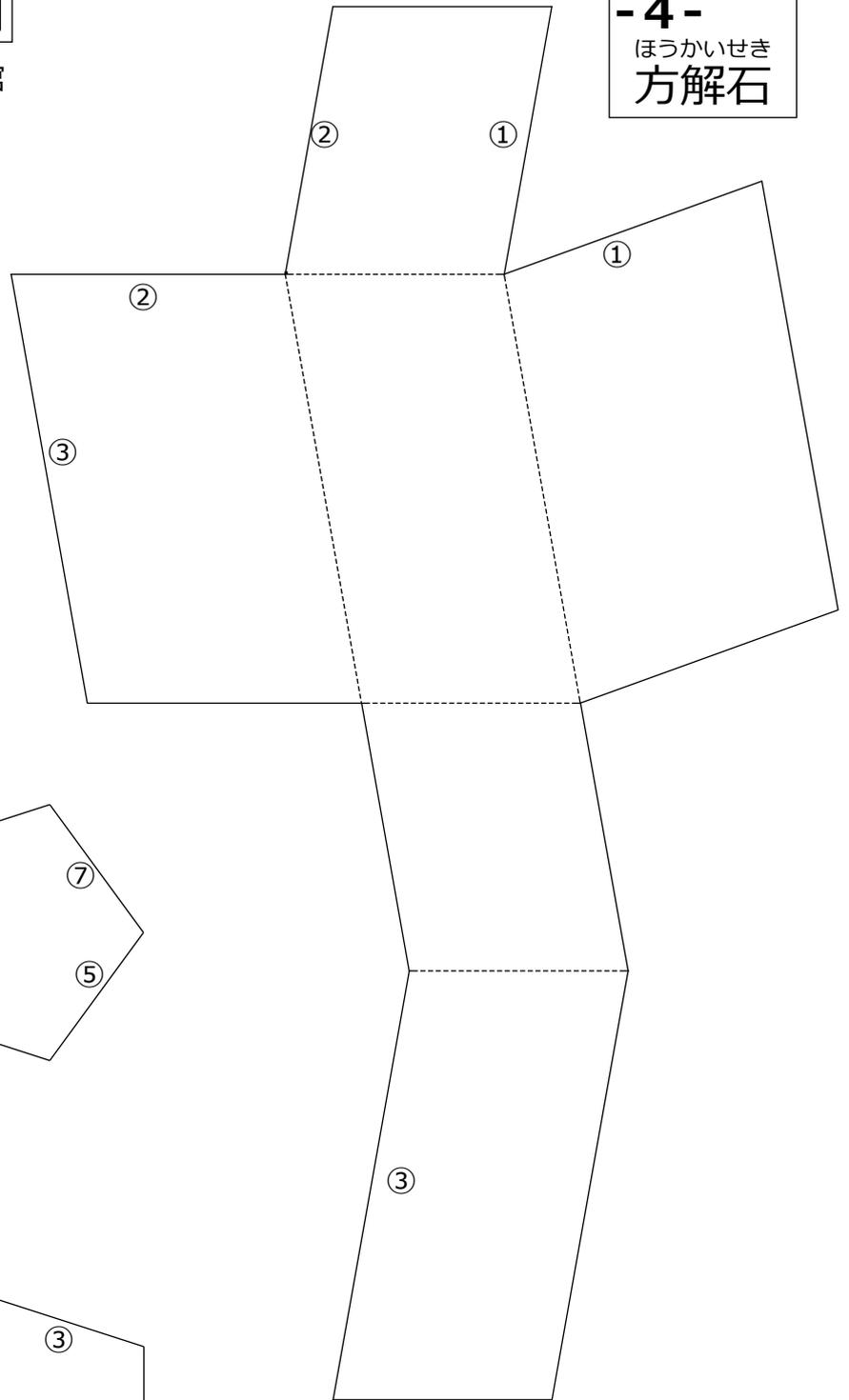
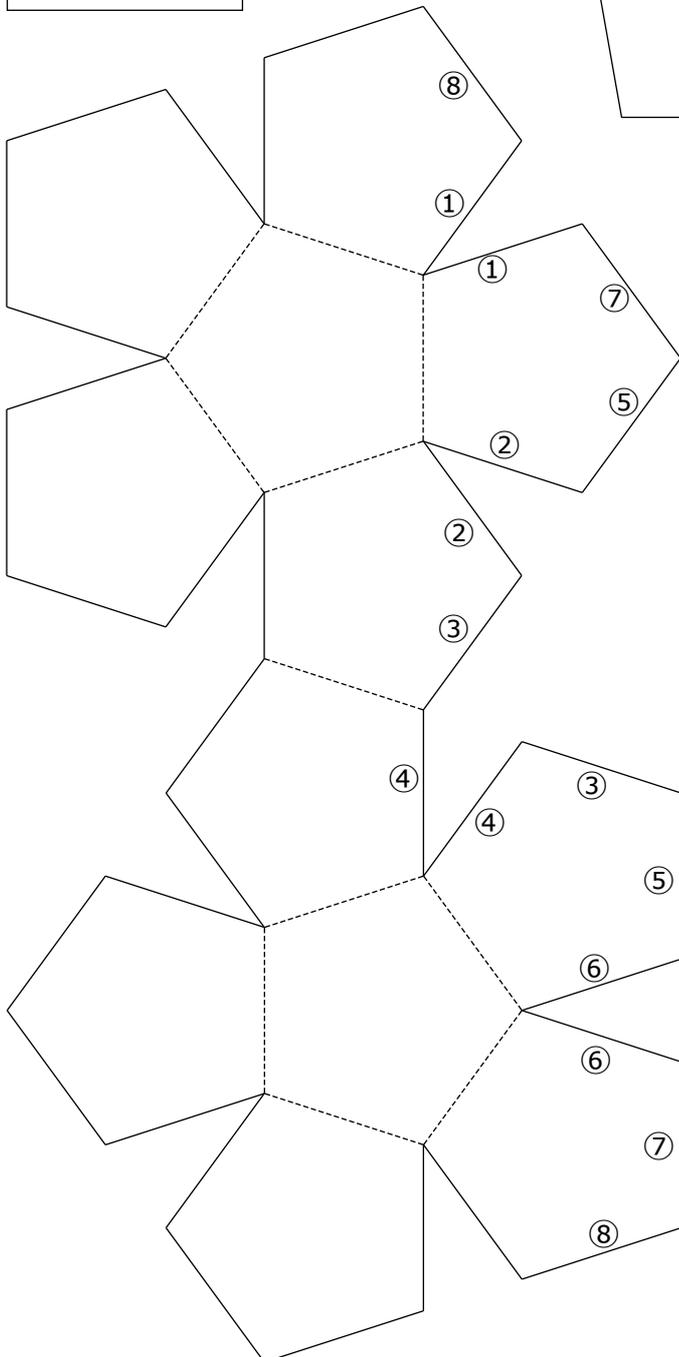


鉱物模型クラフト

琵琶湖博物館

-4-
ほうかいせき
方解石

-5-
いし
ザクロ石
おうてっこう
黄鉄鉱
など



つくりかた

1. 実線をはさみで切る
2. 点線にそって切る
(全部山おり、完成した時に点線をみせないようにするなら谷おり)
3. かどをあわせるようにして、組み立ててテープでとめる
(同じ番号を合わせる)

鉱物模型クラフト

琵琶湖博物館

